

定員適正化計画の策定について（案）

H18.7.20

1. 定員適正化計画策定の必要性

本町を含めた地方公共団体の行財政を取り巻く環境は依然として極めて厳しい状況にあり、この下で、行政ニーズの変化に的確に対応するためには、事務事業の見直し、組織の簡素・効率化、事務事業の外部委託などに取り組みながら、行政ニーズと業務量に応じた適正な定員配置と再配分を行うことによって、簡素で効率的な行政運営に努める必要がある。

このため、新たな定員管理計画を策定し、引き続き、適正な定員管理を行う。

2. 定員管理計画

(1) 計画期間

平成 17 年 10 月 1 日を基準とした平成 22 年 4 月 1 日までの 5 年間

(2) 対象

全職員

(3) 数値目標

平成 17 年 10 月 1 日現在の総職員数 199 人を 5 年間で 10.05%削減し、平成 22 年 4 月 1 日の目標を 179 人とします。

区分	H17.10.1	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	累計
職員数	199	192	187	186	184	179	
退職(予定)者数		8	7	5	5	8	33
新規採用者数		中途 1	2	4	3	3	13
対前年削減数		7	5	1	2	5	20

《参考》

「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2006（骨太の方針）」では、平成 22 年度までに、国家公務員の定員純減（5.7%）と同程度の定員純減を行うこと。 $191 \text{ 人} \times 5.7\% = 10.887 \text{ 人}$

定員モデルの状況

H17.10.1 対象職員	定員モデル	超過人員
180	175	5

公営企業等会計に属する職員はモデルの対象とされていません。

「定員モデル」とは、人口、行政面積、道路延長などの行政需要と密接に関連すると考えられる指標と職員数の関係を分析し、これに基づいて地方自治体の参考となる職員数を算式により求められた職員数です。

類似団体との職員数の比較

人口（H17.3.31 現在） 16,854 人 類型 1 類似団体数～類型 1 は、
邑南町（島根）吉備中央町（岡山）窪川町（高知）など全国で 29 団体

	H17.10.1 A	類団指数 B	比較 A-B
一般行政職	146	132	14
教育部門	34	33	1
普通会計の合計	180	165	15

「類似団体」とは全町村の中で、人口規模や産業構造が類似した団体のことをいいます。町村については、38 に分類されています。（指数は H16 年度）

3 . 計画の管理等

(1) 計画の管理

毎年度の個別の行政需要との整合性を図りながら、職員の年齢構成に配慮しつつ、計画的な採用と退職者の管理の下で、目標数値の達成に努める。

(2) 定員管理の視点

計画目標の達成を図るため、以下の視点から適正な定員管理を行う。

- | | |
|----------------|---------------------|
| ・ 事務事業の整理合理化 | ・ 事務の外部委託の推進 |
| ・ 指定管理者制度の活用 | ・ 組織の簡素効率化と職員の適正な配置 |
| ・ 事務改善と職員の能力向上 | ・ 退職補充者の抑制 |

(3) 計画見直し

計画の中間時点である平成 20 年度において、その後の状況の変化等を踏まえた計画の見直し、フォローアップを行う。